



祭りを盛り上げる^{はっぴ}法被をあつらえました

(一財)自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として宝くじの受託事業収入を財源にコミュニティ助成事業を実施しています。

このたび、東地域、東間深井、西部、公団地域の各地域コミュニティ委員会が、宝くじの助成金を受けて、北本まつり「宵まつり」用の法被計370着をあつらえました。



キッズICTスクール

8月23日、埼玉県信用金庫北本支店を会場に、2020年のプログラミング授業導入に先駆けて、小中学生を対象に商店会と共栄大学海老原研究室によるキッズ向けコンピューター・プログラミング教室が開催されました。参加者は信号機に見立てたLED電球を点滅させる等のプログラムづくりに挑戦、楽しみながら学びました。



市長と若者によるまちづくり意見交換会

8月20日、市役所で市長と若者によるまちづくり意見交換会を開催しました。

当日は悪天候にもかかわらず、9人の市民にご参加いただき、「シティセールス等について」「人が住みたくなるまちづくりについて」の2つのテーマについて提案をいただきました。

提案の内容は、市ホームページでご覧いただけます。

きたもとの防災訓練

市民リポーターの大嶋佐知です。

8月21日に、東中学校で実施された「第37回北本市防災訓練」に参加しました！

当日は絶好の訓練日和。防災訓練参加者は総勢600人。防災に対して日頃から高い関心をお持ちの皆さま、そして私のような関心度低め(だった)メンバーまで様々。炊出し訓練では備蓄のアルファ米を実際に調理、試食(これがまた意外と美味)。子ども消防団も…頑張っているのですがなかなか放水が届きませんっ！(汗)また来年腕を磨いて再挑戦ですね！

このほかにも、初期消火訓練、煙中避難訓練、救出訓練、応急救護訓練、救命救急訓練といった体験型訓練や、防災関連展示スペースが設けられ、参加者みな熱心に取組んでいました。市民一人ひとりが防災へ関心を持つことは、本当に必要な設備や備蓄を明確にし、お互いに助け合える強い防災体制を作り上げることにつながると実感した一日でした。

当日の様子は市ホームページに詳しく！



突撃！
市民リポーター



リポーター
大嶋佐知さん